

令和4年度

資源・不燃物ステーションに関するアンケート調査

調査報告書

令和4年9月

高知市



## 目次

第1章 調査の概要 .....	2
1. 調査の目的 .....	2
2. 調査対象 .....	2
3. 調査方法 .....	2
4. 調査期間 .....	2
5. 回収状況 .....	2
6. 調査結果の見方 .....	2
7. 調査票（アンケート用紙） .....	3
第2章 調査結果 .....	5
1. 回答団体の地域別の割合 .....	5
2. 当番の体制について（問1～問2） .....	6
3. ステーション管理に関する困りごと，問題だと感じていること（問3） .....	10
4. 粗大ごみの戸別収集の導入による，ステーション管理への効果（問4） .....	14
5. その他ステーション管理や登録団体の運営に関する意見等（問5） .....	17

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

---

---

本調査は、登録団体により管理されている資源・不燃物ステーションにおける現状及び課題を把握することにより、今後のステーション管理の在り方を検討するための基礎資料とするものである。

### 2. 調査対象

---

---

令和4年5月19日現在の名簿に登載されている登録団体 1,160 団体  
(代表者同一の場合は、複数枚を同封し送付したため、送付先は 1,093 団体)

### 3. 調査方法

---

---

郵送による

### 4. 調査期間

---

---

令和4年6月22日(水)～令和4年7月15日(金)

### 5. 回収状況

---

---

配布数	1,160 団体
有効回収数	725 団体
有効回収率	62.5 %

### 6. 調査結果の見方

---

---

- (1) 複数回答可の設問は、すべての数を合計すると回答数の数値を超える場合があります。
- (2) 比率は、小数第2位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (3) グラフに記載している「N」の数値は、回答数を表しており、回答数は設問ごとに異なるため、「N」の数値は一律ではありません。

## 7. 調査票（アンケート用紙）

登録団体名：( )	登録団体所在地（大街）：( ) ※前ページの大街一覧表を参考にご記入ください
-----------	-------------------------------------------

管理している資源・不燃物ステーションについて、お伺いします。

問1. 資源・不燃物収集日に分別指導を行う当番の体制について教えてください。（〇は1つ）

1 固定制（廃棄物減量等推進員 や 町内会のごみ係など）	(→問3へ)
2 輪番制	(→問3へ)
3 固定制と輪番制の併用	(→問3へ)
4 マンションの管理人	(→問3へ)
5 派遣会社等から雇用（雇用先： )	(→問3へ)
6 その他 ( )	(→問3へ)
7 当番を決めていない	(→問2へ)

※廃棄物減量等推進員…市と協力して地域におけるごみの減量化や再生利用を促進していくため、市長から委嘱するボランティアリーダー。令和4年5月現在1,040名に委嘱。

問2. 問1で、「7 当番を決めていない」を選択された方にお聞きします。

その理由について教えてください。（あてはまるものすべてに〇をつけてください）

1 輪番など当番のルール作りができていないため
2 ステーションの当番など地域の活動への参加率が低く、担い手が少ないため
3 分別札（看板）やケース等のみを設置して対応しているため
4 特に分別指導等をしなくても、分別が徹底されているため
5 その他 ( )

問3. 資源・不燃物ステーションの管理に関することで困っていることや、問題だと感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに〇をつけてください。）

1 分別区分が守られていない（特に多い品目： )
2 ごみを出すことが困難な世帯があり、町内での手伝いが必要
3 収集日以外に排出されている（夜間や朝8時以降を含む）
4 資源物の抜き取りや持ち去りがある
5 ステーションの広さが不十分で手狭になっている
6 粗大ごみの移動や整理の負担が大きい
7 事業所ごみと思われるものが排出されている
8 他地区からの持ち込みと思われるものの排出がある
9 特になし
10 その他困っていることや、問題だと感じていることがありましたらご記入ください ( )

問4. 高知市が、令和3年8月に実施した「家庭ごみに関するアンケート調査」において、ごみに関する困りごとの1位は、すべての年代で『大型ごみの排出が困難』の項目となりました。

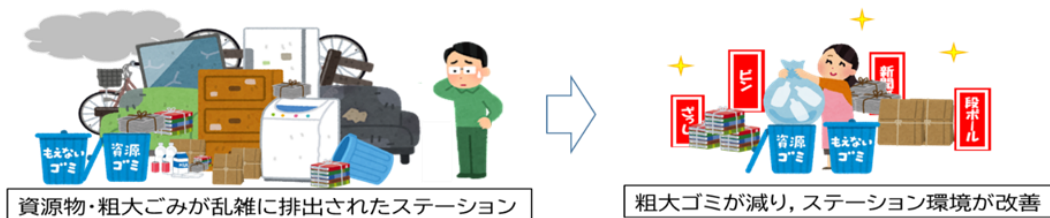
現在、高知市において粗大ごみは、月に1度の資源・不燃物ステーションで収集を行っていますが、全国の中核市で見ると、ステーション収集に加え、戸別収集（有料）を導入している自治体が多くなっております。

高知市においても、登録団体の負担軽減や市民サービスの向上等を目的に、粗大ごみの『戸別収集』について検討が必要と考えております。



上記のような戸別収集を導入した場合、ステーションを管理するうえで、どのような効果があると思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

1	ステーションから粗大ごみが少なくなり、スペースが確保される
2	ステーション内で、粗大ごみの移動や整理する手間が少なくなり、当番の負担軽減につながる
3	自宅の玄関先に出すことで、ごみ出しルールが守られ、ステーションでの分別徹底につながる
4	ステーションへの他地区からの持ち込みや、事業所からの不適切な排出の防止につながる
5	各家庭がごみを出しやすくなり、運搬を手伝うなどの負担が軽減される
6	特になし
7	その他（ ）



問5. その他、ステーションの管理や登録団体の運営に関して、ご意見等あればお聞かせください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

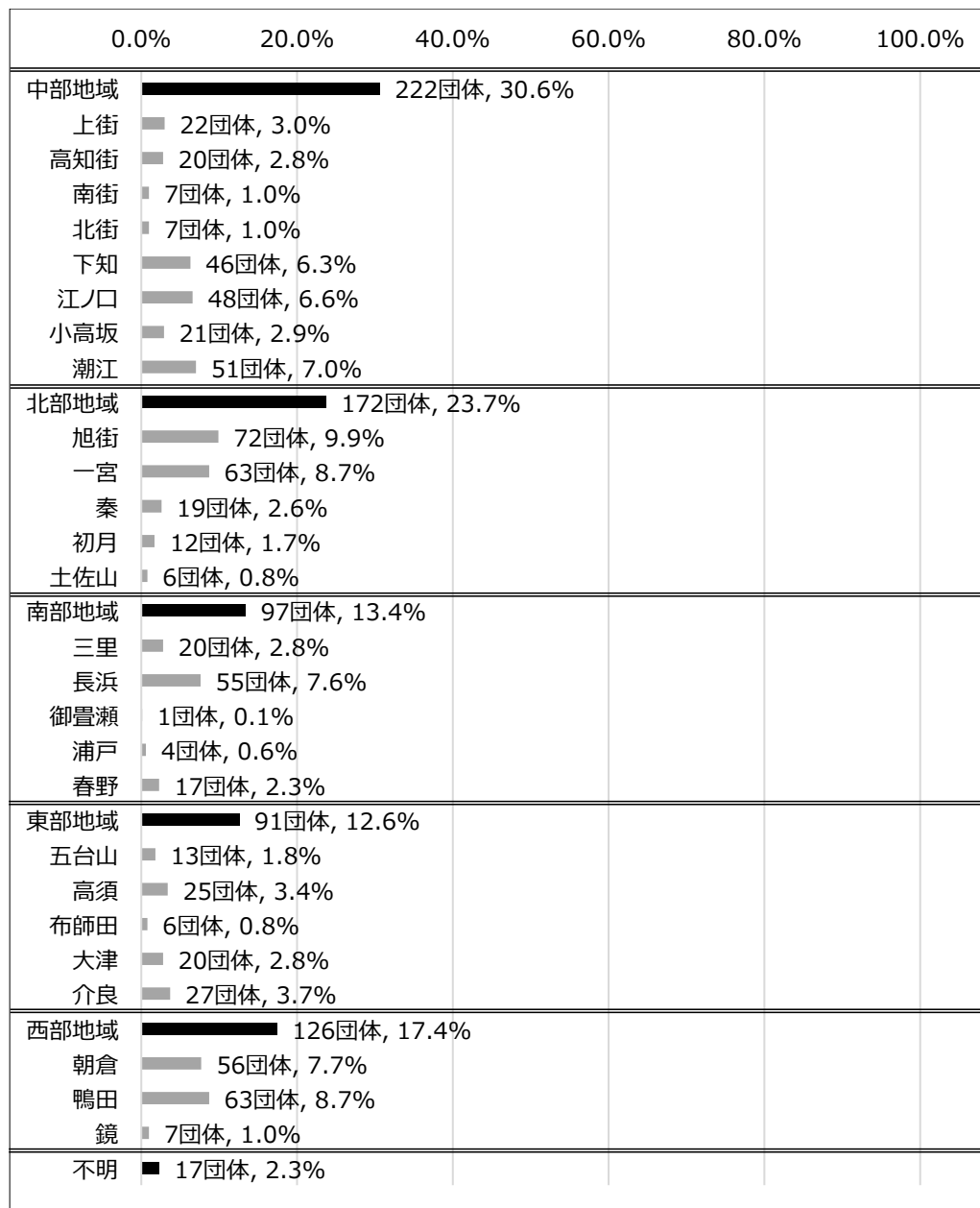
回答用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）にて、令和4年7月15日（金）までに、郵便ポストにご投函ください。

## 第2章 調査結果

### 1. 回答団体の地域別の割合

記入欄⇒ 登録団体名：（ ） 登録団体所在地（大街）：（ ）

回答のあった 725 団体のうち、「中部地域」が 30.6%、「北部地域」が 23.7%、「南部地域」が 13.4%、「東部地域」が 12.6%、「西部地域」が 17.4%、「不明」が 2.3%であった。



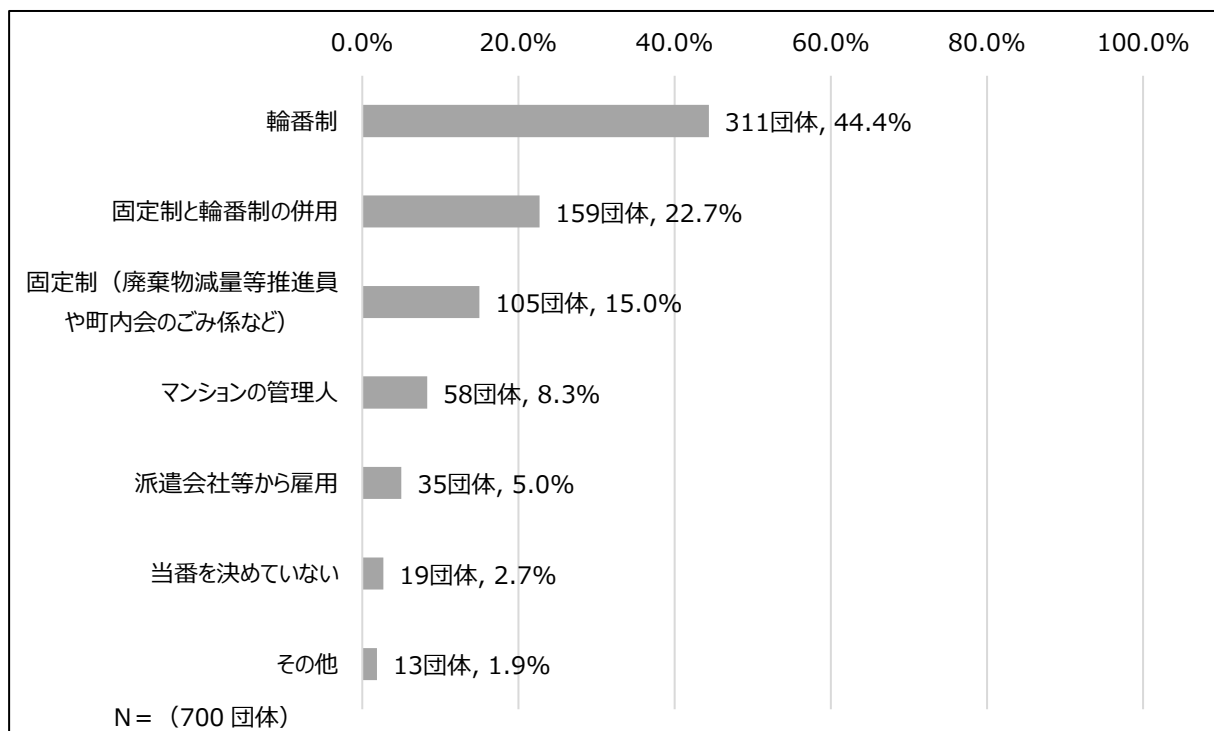
## 2. 当番の体制について（問1～問2）

問1. 資源・不燃物収集日に分別指導を行う当番の体制について教えてください。

（〇は1つ）

### （1）回答結果

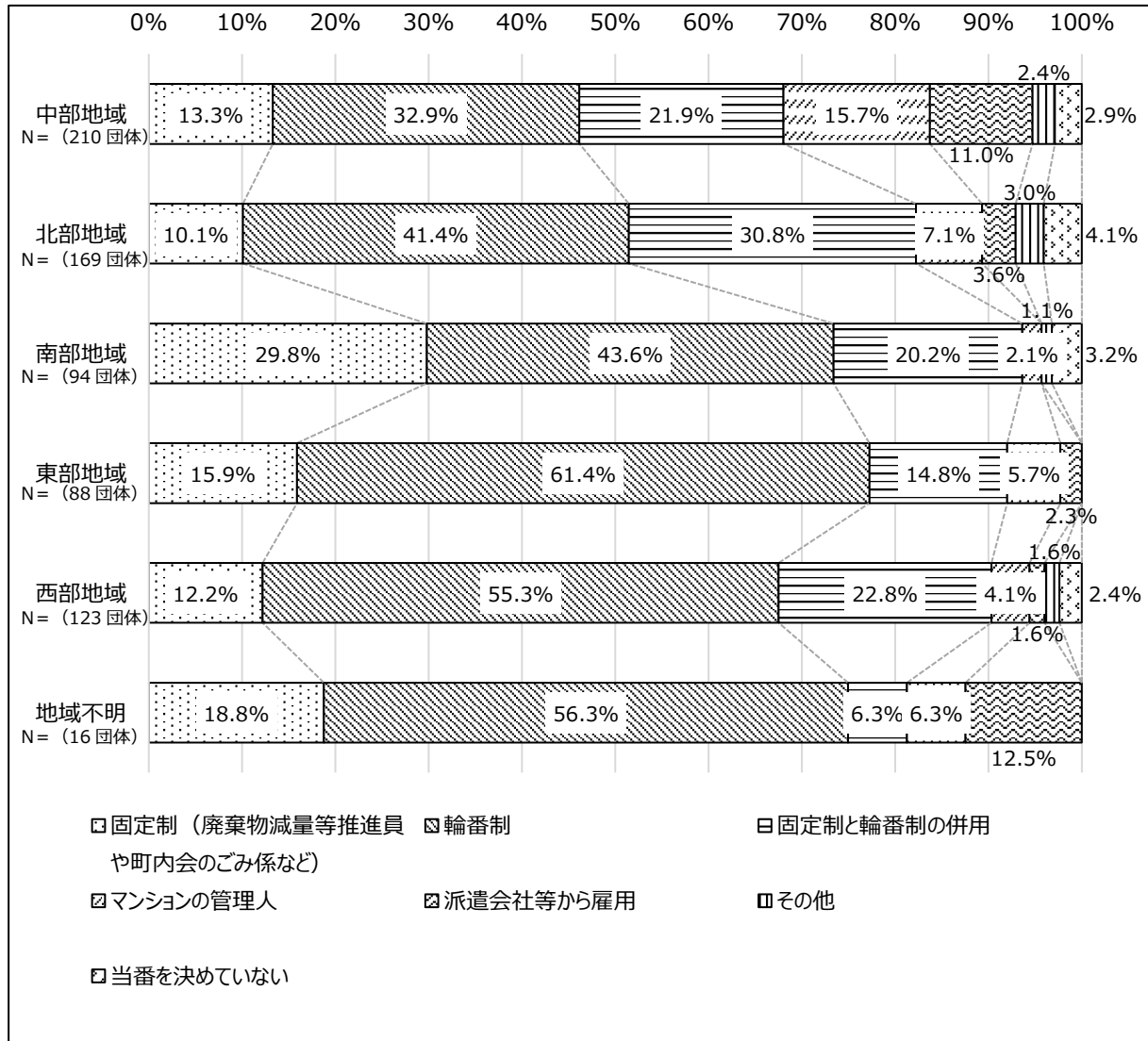
「輪番制」が最も多く311団体、44.4%、次いで「固定制と輪番制の併用」が159団体、22.7%、「固定制（廃棄物減量等推進員や町内会のごみ係など）」が105団体、15.0%であった。





(2) 地域別の回答割合

当番の体制について、地域別の回答を比較すると、中部地域では「マンションの管理人」が 15.7%、「派遣会社等から雇用」が 11.0%であり、他地域と比べ高い割合。南部地域では、「固定制（廃棄物減量等推進員や町内会のごみ係など）」が 29.8%であり、他地域と比べ高い割合。東部地域と西部地域では、「輪番制」が東部地域 61.4%、西部地域 55.3%と他地域に比べ高い割合であった。



### (3) 派遣会社等の雇用先

「派遣会社等から雇用」を選択し、雇用先の記載のあった 32 団体のうち、「シルバー人材センター」が 31 団体、96.9%であった。

記載内容（要約）	回答団体数	回答比率
シルバー人材センター	31	96.9%
その他	1	3.1%
累計（延べ数）	32	100.0%
回答数（実数）	32	100.0%
無回答	3	
合計	35	

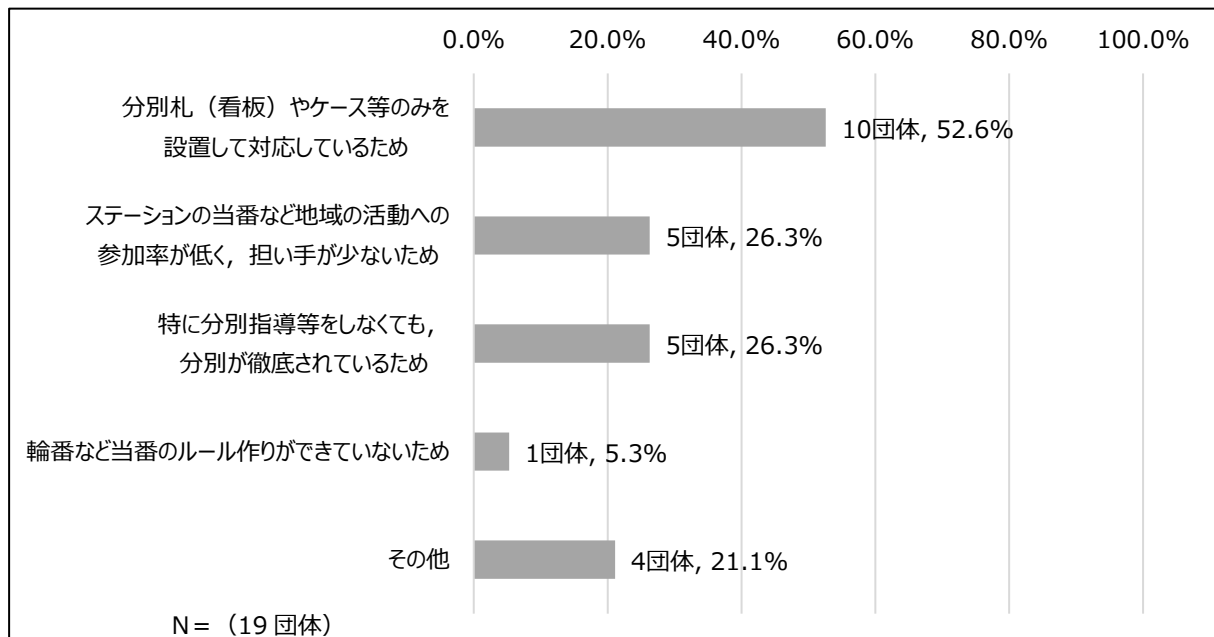
### (4) その他の記載内容

「その他」の回答は、「個人の方へ依頼」や「派遣会社と固定制または輪番制との併用」などの内容であった。

問2. 問1で、「当番を決めていない」を選択された方にお聞きします。  
その理由について教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

### (1) 回答結果

問1で「当番を決めていない」と回答した理由は、「分別札（看板）やケース等のみを設置して対応しているため」が最も多く10団体、52.6%、次いで「ステーションの当番など地域の活動への参加率が低く、担い手が少ないため」と、「特に分別指導等をしなくても、分別が徹底されているため」が、それぞれ5団体、26.3%であった。



※複数回答有り（1回答者あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答（実数）を上回ります。）

### (2) その他の記載内容

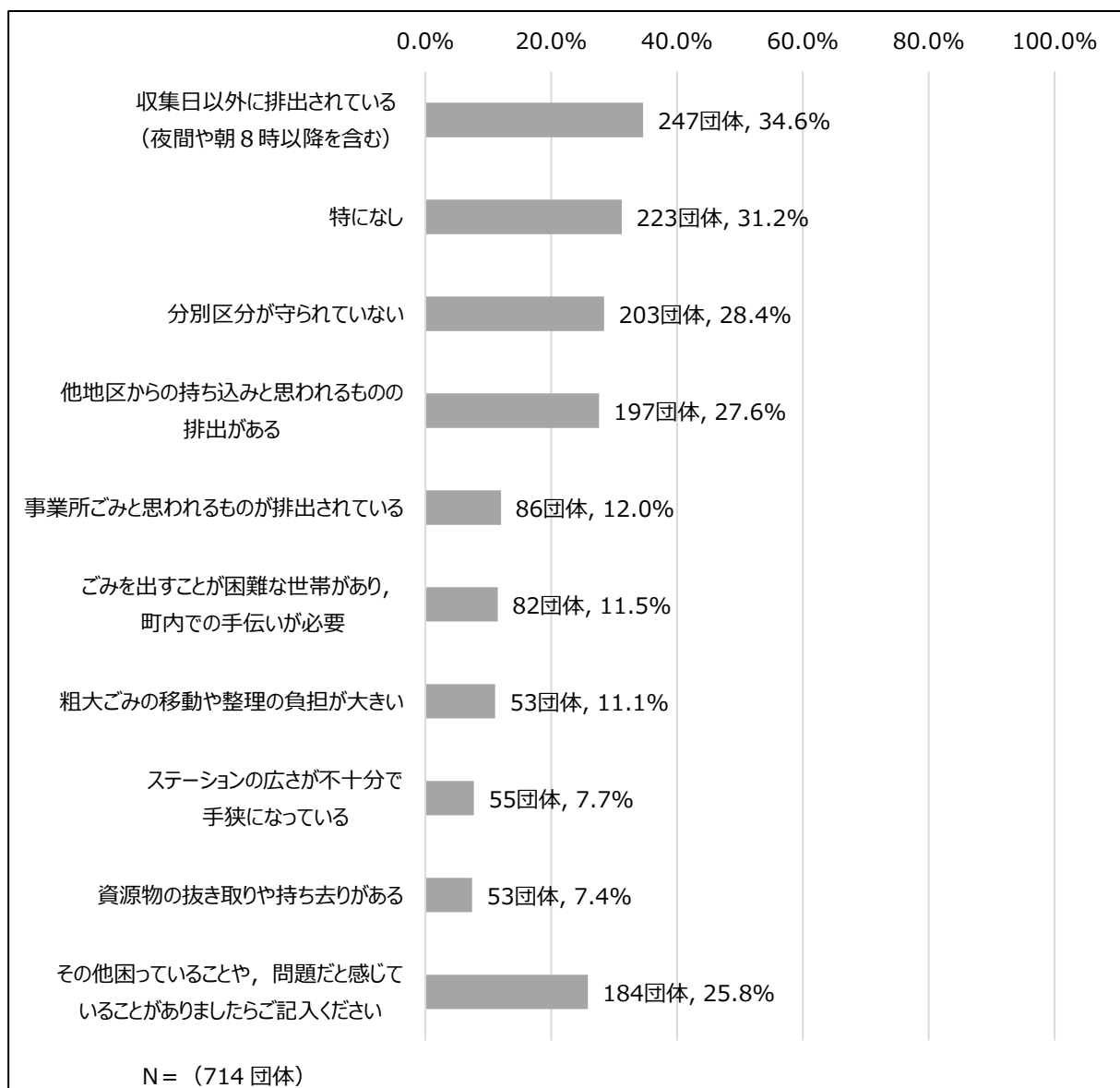
「その他」の回答は、「隣接する町内会へお願いしている」や「隣接施設で収集している」などの内容であった。

### 3. ステーション管理に関する困りごと、問題だと感じていること（問3）

問3. 資源・不燃物ステーションの管理に関することで困っていることや、問題だと感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

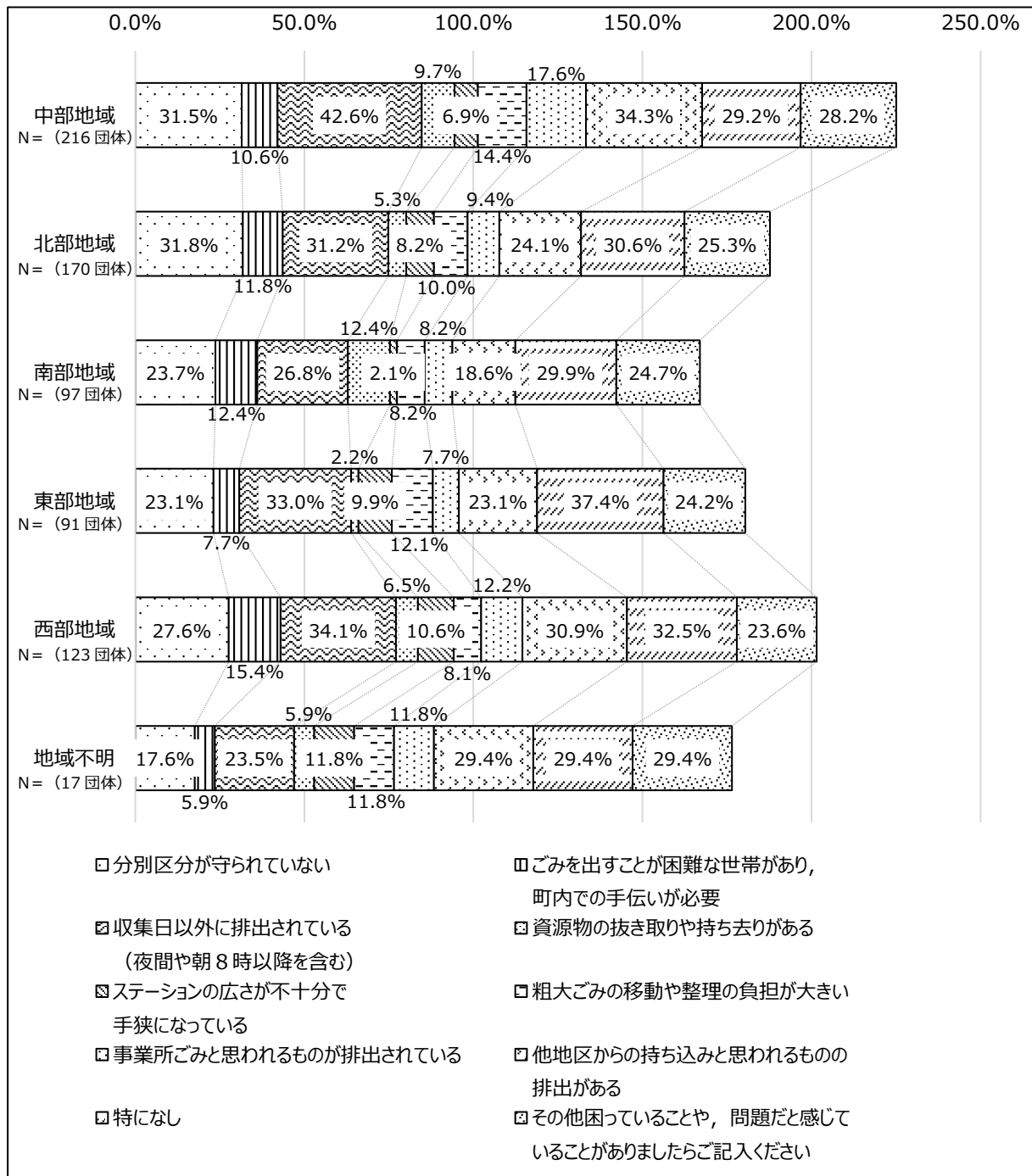
#### （1）回答結果

「収集日以外に排出されている（夜間や朝8時以降を含む）」が一番多く247団体、34.6%、次いで「特になし」が223団体、31.2%、「分別区分が守られていない」が203団体、28.4%、「他地区からの持ち込みと思われるものの排出がある」が197団体、27.6%であった。



※複数回答有り（1回答者あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答（実数）を上回ります。）

(2) 地域別の回答割合



※複数回答有り（1回答者あたり複数の回答があるため、回答割合が100%を上回ります。）

## (3) 特に分別区分が守られていない品目

「分別区分が守られていない」を選択し、特に多い品目の記載があった140団体のうち、最も回答が多かった品目は「不燃ごみ」で33.6%が回答、次いで、「ビン」が25.7%、「金属」が22.1%、「カン」が20.0%となった。また、「その他」の回答内容では、「可燃ごみ」や「プラスチック」の分別が守られていないとの回答が多かった。

記載内容（要約）	回答団体数	回答比率
不燃ごみ	47	33.6%
ビン	36	25.7%
金属	31	22.1%
カン	28	20.0%
可燃粗大ごみ	21	15.0%
未分別	18	12.9%
家電品	14	10.0%
水銀含有物	14	10.0%
布類	12	8.6%
紙類	11	7.9%
発火・ライター	6	4.3%
その他	53	37.9%
累計（延べ数）	291	207.9%
回答数（実数）	140	100.0%
無回答	63	
合計	203	

※記載内容が複数あるとき、分割して集計しているため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります。

#### (4) その他の困りごと・問題だと感じていること（自由記載の内容）

「その他困りごと・問題だと感じていること」の自由記載で、最も多かった意見は、「持ち込みなどの不適切な排出に関する問題」であった。次いで、「ステーション管理の担い手不足の問題」が多く、他に、「排出者の分別理解・意識・マナーに関する問題」、「ステーション管理上の物理的な問題」、「行政等への意見」などの意見があった。

##### （記載内容の具体例）

###### 「持ち込みなどの不適切な排出に関する問題」

- 収集日当日でも、早朝に持ち込まれた物は分別されていないため、担当者で仕分けが必要になる。量が多いときは非常に重労働。
- 夜中に出たごみが分別できていない。他地区からの持ち込みや事業所ごみが多い。

###### 「ステーション管理の担い手不足の問題」

- 当番が高齢化や仕事により、人手不足。このままではやれる人に集中し、当番体制の維持が困難。
- 今はご近所の方、地域の方が協力してくださり助かっていますが、高齢の方が多く、この先当番の方の負担が大きくなると管理が大変になっていくのでは、と思っております。

###### 「排出者の分別理解・意識・マナーに関する問題」

- プラ製品を可燃ごみとして出せることを知らない人がいる。
- 容器の中身が残っている。フタを取らないで出される。
- ペットボトルを水曜日に出すので困っている。

###### 「ステーション管理上の物理的な問題」

- 場所の問題があり、世帯が多いので置く場所がない時があります。
- 冬場照明がなく暗い。
- 雨の日は置き場所が土場なので出しにくい。

###### 「行政等への意見」

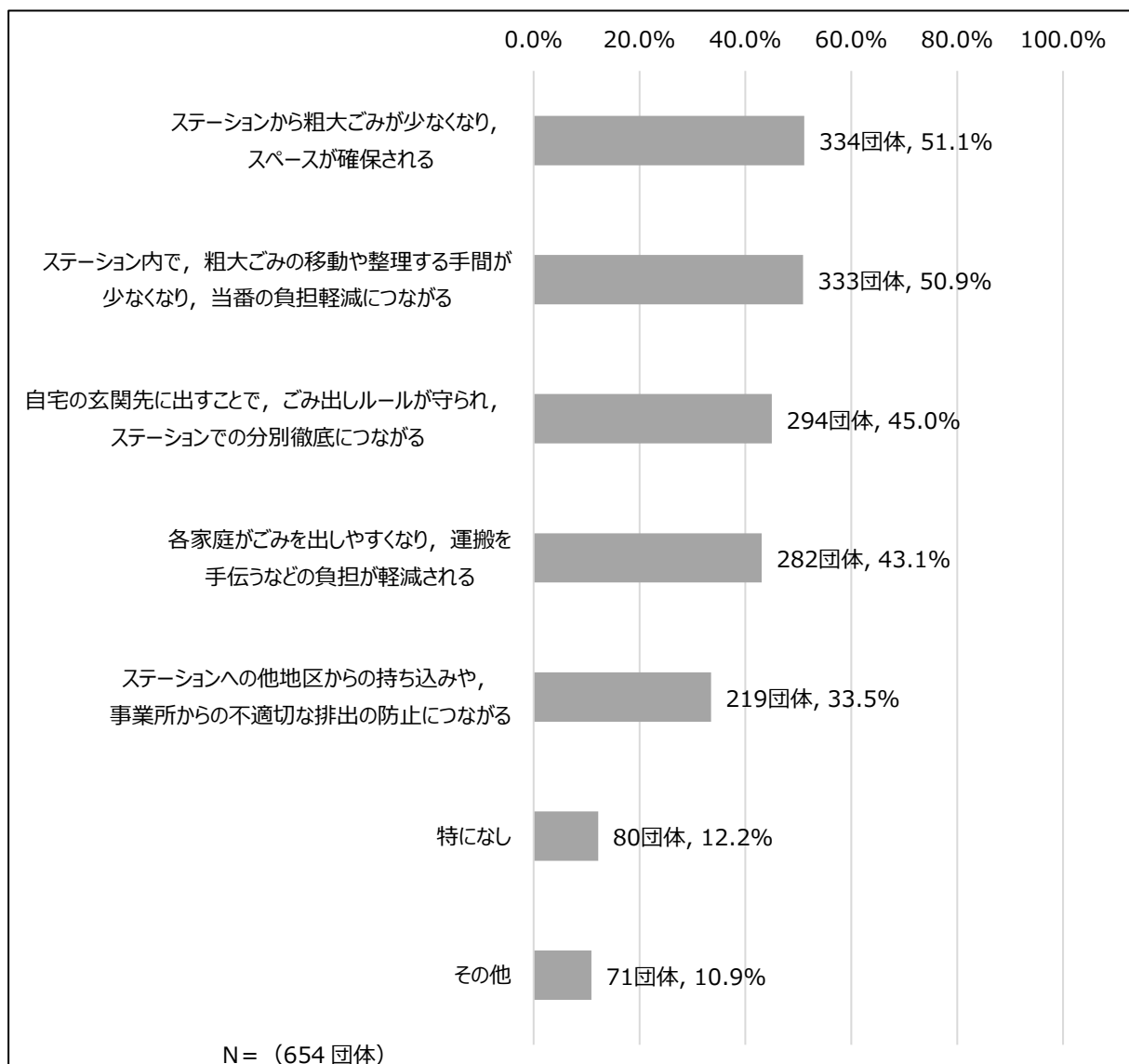
- 収集日の前日夜などに他地区からごみの持ち込みがあるようなので、啓発看板など設置して頂けたら嬉しい。
- 家庭ごみの出し方チラシ表の〈新聞・チラシ〉〈雑誌〉の分別基準が分かりにくい。

## 4. 粗大ごみの戸別収集の導入による、ステーション管理への効果（問4）

問4. 上記のような戸別収集を導入した場合、ステーションを管理するうえで、どのような効果があると思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

### （1）回答結果

「ステーションから粗大ごみが少なくなり、スペースが確保される」が最も多く 334 団体、51.1%、次いで「ステーション内で、粗大ごみの移動や整理する手間が少なくなり、当番の負担軽減につながる」が 333 団体、50.9%、「自宅の玄関先に出すことで、ごみ出しルールが守られ、ステーションでの分別徹底につながる」が 294 団体、45.0%、「各家庭がごみを出しやすくなり、運搬を手伝うなどの負担が軽減される」が 282 団体、43.1%であった。

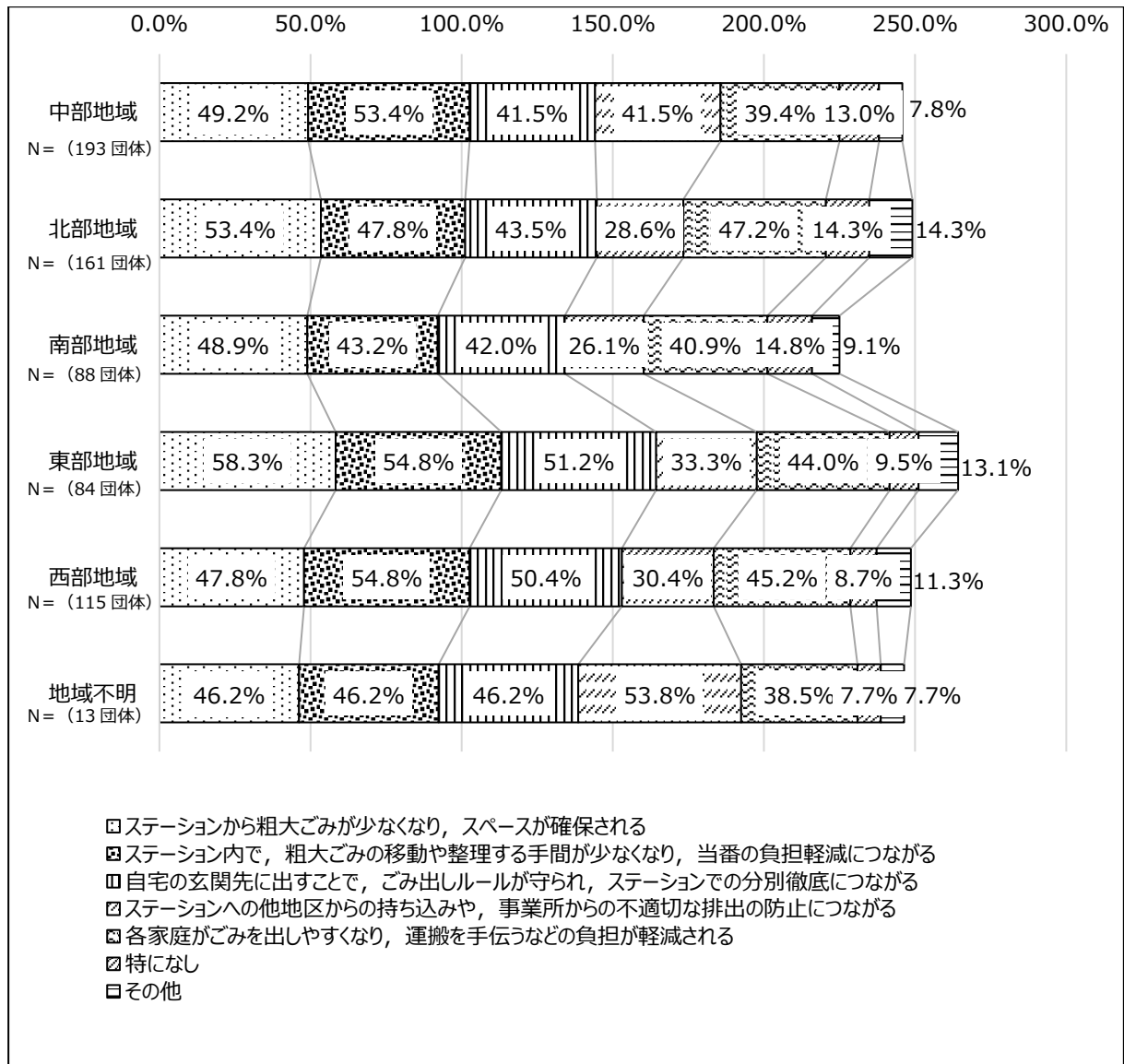


※複数回答有り（1回答者あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答（実数）を上回ります。）



(2) 地域別の回答割合

地域別の回答割合では、中部地域・西部地域では、「ステーション内で、粗大ごみの移動や整理する手間が少なくなり、当番の負担軽減につながる」が、最も高い割合であり、北部地域・南部地域・東部地域では、「ステーションから粗大ごみが少なくなり、スペースが確保される」が最も高い割合であった。また、中部地域では、「ステーションへの他地区からの持ち込みや、事業所からの不適切な排出の防止につながる」が他地域に比べ高い割合であった。



※複数回答有り（1回答者あたり複数の回答があるため、回答割合が100%を上回ります。）

### (3) その他の自由記載の内容

「その他」を選択し、自由記載のあった意見のうち最も多かったのは、「賛成意見」であった。次いで「集合住宅・道路幅等の戸別収集実施への課題」が多く、他に、「有料での実施への反対・負担増の心配」、「戸別収集導入に対する不安・反対意見」、「不法投棄が増えることへの懸念」、「地域コミュニティの希薄化につながる心配」などの意見があった。

#### (記載内容の具体例)

##### 「賛成意見」

- ステーション前の車の混雑を軽減できる。
- 老人世帯などの大きい粗大ごみの運搬が大変になるので、戸別収集があればいいと思う。
- 当番の人数が軽減できる。

##### 「集合住宅・道路幅等の戸別収集実施への課題」

- マンションなので、月1回の資源ごみ収集日以外はスペースが確保できない。
- 団地内の道路が狭いため、収集車が入ってくることによる事故が心配。
- 玄関先にすると道路が狭く収集車が入って来られない。

##### 「有料での実施への反対・負担増の心配」

- 消極的意見になりますが、有料となると利用するかたが想定より減るように思います。
- 有料の利用金額による負担が増える心配がある。

##### 「戸別収集導入に対する不安・反対意見」

- しっかり申し込みできればよいが、持ち帰られたり必要な物と間違えることはないか。
- 以前は大変でしたが、随分と改善されて、私どものステーションでは、戸別収集は必要ないかと感じております。

##### 「不法投棄が増えることへの懸念」

- 金額によっては不法投棄につながりそう。
- 夜間の排出、不法投棄の心配が生じる。

##### 「地域コミュニティの希薄化につながる心配」

- 逆に排出できなくなることが増える。地域のコミュカが弱体化する。
- 「戸別収集」を利用する所帯が増えると、ステーション管理の住民の広い協力を得ることが困難になるのでは。

## 5. その他ステーション管理や登録団体の運営に関する意見等（問5）

問5. その他、ステーションの管理や登録団体の運営に関して、ご意見等あればお聞かせください。

「その他ステーション管理や登録団体の運営に関する意見等」に自由記載のあった意見のうち最も多かったのは、「問3の回答に関連するステーション管理の困りごと、問題だと感じていること」であった。次いで「回収をする組合・行政への日頃の感謝等」が多く、他に、「ごみ収集の仕組みや分別区分の変更などの行政への要望」、「問4の回答に関連する戸別収集導入に対する意見」、「日々の収集やステーションの掲示物等に関する、行政等への要望」、「新たな取組等や改善策の提案」などの意見があった。

（記載内容の具体例）

「問3の回答に関連するステーション管理の困りごと、問題だと感じていること」

### ステーション管理の担い手不足の問題

- 若い世代は共稼ぎがほとんど。時間的余裕がなく、高齢世代は身体が言うことをきかなくなり、決められた時間、当番を全うしにくい。
- 前ページにも記入した通りですが、とにかく町内会の存続そのものがむつかしくなっています。コミュニティ推進課様にも相談しましたが、あらゆる会費を払うことも、その作業が役員の負担となっています。市役所内でも関連部署が連携して今後の運営を考えてください。
- いつまでこの仕組みが継続できるのかという不安はある。

### 持ち込みなどの不適切な排出に関する問題

- 道路に面しているため夜間に他地区からと思われる分別していないゴミが多く置かれることがある。
- ステーションの場所自体が問題である。県道沿いなので搬出そのものがドライブスルー状態で深夜に他地域からの持ち込みが目立ち、深夜の取締りも行ったが、毎回は無理がある。商店街沿いなので明らかに事業所ゴミの持ち込みがある。
- 区外からの時間外の排出の量が多い。業者（事業所）のものが多くて分別がたいへん。

### ステーション管理上の物理的な問題

- 不燃物ステーションまでの距離が遠く、高齢者や自家用車を持たない人が困っている。
- ごみステーションに防護ネットをやっているが（横からとか）カラスが来て散らかします。（ネットの外に出す人もいる？）カラスの駆除とかしてほしいです。
- 現在、月一度有料駐車場を借りていますが、住宅建築等でいつ廃止になるか不安、代替地を模索中です。

### 排出者の分別理解・意識・マナーに関する問題

- ステーションがあっても、分部するチラシ、文を読まない人が多い。自分が分別する当番をしてほしいが、積極的に参加しない。
- 不燃ごみも可燃ごみも曜日も時間も関係なく捨てる。

## 「回収をする組合・行政への日頃の感謝等や戸別収集への期待」

- ゴミ一つ残さず綺麗に収集して頂いています。大変感謝しています。
- 不燃物収集時間に、環境業務課の方が車で巡回してきてくださるので、何かあればすぐにお願ひできるし、欲しい物（ゴミ辞典、プレート等）があればスピーディーに対応して下さいで大変助かっております。
- 戸別収集が実現すれば、当町内では、高齢化や一人住まいなどが多く、助かると思う。

## 「ごみ収集の仕組みや分別区分の変更などの行政への要望」

- 個人的なことなのですが、色覚異常者にとって茶色と黒色のビンの仕分けは極めて困難です。
- 他の市町村とくらべて高知市は甘いと思う。そろそろ少しずつ有料化してもいいのでは。
- 段ボールはかさばって運びにくいので車で持ち込める所を設けてほしい。

## 「問4の回答に関連する戸別収集導入に対する意見」

戸別収集導入に対する賛成意見

- 町内会も高齢化が進んでいますし、少数の町内会ではいろいろと当番の負担も大きいので低額での戸別収集はいい方向性と思います。
- 自宅の玄関先に出すことで、粗大ごみを出しやすくなる（搬出が困難な老人等）。
- 戸別収集を導入すると市民サービスの向上になるとは思いますが、現状でも高知市が責任もって収集して下さいるので大変助かります。

戸別収集導入に対する不安・反対意見

- 戸別収集は良い点があると思われませんが、道が狭いために玄関先まで収集車が入れない場合があるのではないのでしょうか。
- 有料の戸別収集が常態化すれば、現在輪番制で行っているステーションの当番制が「自分は粗大ごみはステーションに出していないので、当番はしない。」等のことがおこれば、ゴミステーション管理のボランティアの取り組みができなくなる可能性がある。将来的には「ゴミの有料化」へとなるのではないか。
- マンション（当マンションはオートロックです）の場合、戸別収集は各戸玄関先迄ですか？戸別収集の場合、搬出した家庭は在宅の必要があるのでしょか？そうした事がちゃんとクリアになっていなければ、マンションの場合は新たな問題が起こりそうですが・・・

## 「日々の収集やステーションの掲示物等に関する、行政等への要望」

- 普段の可燃ゴミ・プラ容器収集時に、パッカー車が去った後に、こぼれたゴミや発泡スチロールの細かいくずが散乱している時があります。軽いゴミが風にあおられて大変です。出す方にも問題ありですが。
- 問3で書きましたが、出しに来た人は赤い札を見て自分で判断します。当番さんは具体的な分別の本を持っていますが、質問でもされないと対応していません。だから、赤い札にぜひ、よく間違える物についての注意を書いておいてほしいと思います。当団地では、「布類」「金属」「発火器具」に毎月間違った物が出されています。注意書きの赤い札を準備して下さいれば、掲示することができて助かります。
- 生ゴミステーションに鳥よけネットを自治会費で購入して設置していますが、破損しやすく費用がかかるので、補助金又は現物を支給してほしい。清掃収集後には網を丁寧に扱ってほしい。

## 「新たな取組や改善策等の提案」

- 生ごみ収集の日に、少し離れたところに段ボール・雑誌類の資源を出せたらいいと思います。最近通販が多いので1ヶ月に1回の資源の日まで置く所がないみたいで、生ごみの日にゴミとしてよく出しています。
- 資源ステーションの行政の見廻りはやめてもいいのではないか。
- 収集日を、品目ごとに分散してはどうかと思います。例えば、ビン・カンの日、紙ゴミの日、その他…等。当マンションでは、曜日を決めて、月1回紙ゴミを古紙業者に古紙収集に来てもらっています。